

# 新里海かわら版

「長浜・御畳瀬・浦戸」の地域おこしだより

VOL.

5



特集

クラスメイトは子どもから大人まで。

「こうちみませ楽舎」がくしや2年目の挑戦



こうちみませ楽舎の  
ロゴマークが決定

今年度本格開校した地域おこし学校「こうちみませ楽舎」。国際デザインビューティカレッジ協力の下、候補60作品の中から、地域の方と受講生と一緒にロゴマークを選びました。皆さん、ありがとうございました。



ハンバーガー、美味しいね。

土佐弁、伝わるかなあ。

▲令和3年度から本格開校した「こうちみませ楽舎」での授業の様子。最終日となる12月18日には成果発表会が行われ、関係者・見学者を含め約60人が、できあがった作品に触れながら、楽しいひとときを過ごしました。

地域おこし学校「こうちみませ楽舎」  
2年目の挑戦

特集

# クラスメイトは子どもから大人まで。

平成24年3月に閉校となった旧御畳瀬小学校を拠点に、長浜・御畳瀬・浦戸地域をフィールドとして、地域活性の「学び」と「実践」を展開する地域おこし学校「こうちみませ楽舎」。令和2年度のプレ開校に引き続き、今年度は本格開校として、「学校活用プロジェクト」「商開開発プロジェクト」「情報発信プロジェクト」の3つの教室を実施しました。受講生は、公募で集まった32人。年齢層も居住地もさまざまですが、共通しているのは「アイデアと意欲を持っている」こと。全6回という短い授業の中で、受講生たちのやる気と集中力によって、素敵な成果品が完成しました。

**これで終わらせない。**

成果発表会で聞かれたのは、受講生たちの「これで終わりにしたくない」との声。自ら考え、実行していくことは時に苦労もありますが、その分、充実感や達

成感を得ることができました。同じ教室で取り組む受講生同士の連帯感も、普段の生活ではなかなか得られないもので、こうちみませ楽舎が仲間づくりの場になっているといえます。さて、今回の成果品をこれからどう発展させていくか。

こうちみませ楽舎は、今年度の成果や受講生の意見を参考に、令和4年度も開催する予定です。受講生が継続して関わり、更に「何だか面白そう」と興味を持った新しい仲間が加わることで、長浜・御畳瀬・浦戸地域に関わる人（関係人口）の輪が広がり、新たなアイデアや活動が生まれます。今後、こうちみませ楽舎が地域づくりのための一つのエンジンになっていくことをめざし、来年度も取り組んでいきます。



▲ 詳しい内容は地域活性推進課ホームページをご覧ください。



## 教室活用プランづくり & DIY



▲不用品をアレンジして作った「二人の距離が近くなる椅子」(上)と「元気になる椅子」(下)

この教室では、地域から集められた不用品を使い、「座る人が笑顔になり、会話が生まれる椅子」というお題に沿って、DIYを行いました。

材料は、くじ引きで選びます。たんす、スケートボード、流木、サイドミラー……「これ、椅子になる？」という戸惑いと、そこから発想する楽しさは、この教室ならでは。

例えば、ギターケースが当たった受講生は、ケースを切って組み合わせ、「二人の距離が近くなる椅子」を作りました。「距離を縮めたい人と座ってもらいたい」というアイデアが素敵です。ある受講生は、鍋をいくつもぶら下げて、「元気になる椅子」を制作。誰かが座ると、カランカランと言わたり立ち上がった後も賑やかな余韻が残ります。

出来上がった椅子は、つい座りたくなり、「座り心地はどう？」と話し掛けたくなる椅子ばかり。初対面でも、話すきっかけさえあれば、そこから新しい関係性が生まれます。それはまさに、この教室がめざす姿。「この椅子を通じて、再び校舎に賑わいが生まれ、地域に広がっていきけば」それが受講生みんなの願いです。

情報発信



## 絵と文字で伝える地域のストーリーづくり



④ 元親のいけあふ後か  
桂浜



⑤ 元親のいけあふ後か  
湖風堂の神の杜



⑥ 元親のいけあふ後か  
なつかや

この教室では、長浜・御豊瀬・浦戸地域の情報が一目で伝わるかるたを作りました。その名も「こころへんかるた」。

「よさこい節に出てくる地名と

しては知っているけれど、実際に訪れたことはない」という人にも「長浜・御豊瀬・浦戸地域はこころへん！」と知ってもらいたい、そんな思いの詰まったかるたです。

幅広い年齢層の受講生たちが、地域の風景や生活史などを、それぞれの感性で表現。クッスと笑えるかるたになりました。

「カマキリが祟

幅広の年齢層の受講生からは、「小・中学校やふれあいセンターにも配布したい」「大人のかかるた大会を」「かるたの札になった場所を巡るウォークラリー」などの活用案が出ました。かるたをしながら、地元の話に花を咲かせたいですね。

商品開発



## 地域食材でご当地バーガーづくり



プレ開校で出た「地域を周遊する際に食べるご当地グルメがあればいい」というアイデア。この教室では、地域食材を使った商品で地域をアピールし、関係人口の増加を目標とします。

食材探しフィールドワークでは、地元コミュニティカフェの方から「御豊瀬地区で水揚げされる魚をぜひ使ってほしい」との声があり、沖ウルメ(ニギス)を使ったバーガーにすることに。

完成したバーガーは、地元にはゆかりがあり、ファンも多い長宗我部元親公をモチーフとした「元親武者ムシャバーガー」と命名！沖ウルメのフライと野菜

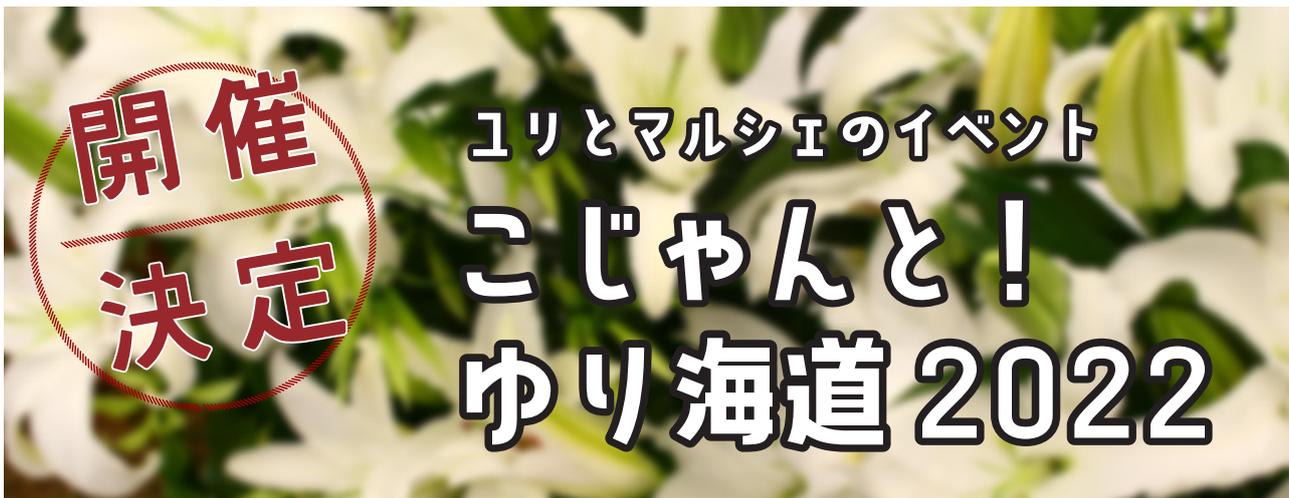
を挟んだパンに、元親公の武器である「槍」を模した竹串を刺して装飾しました。成果発表会では60食を試食提供。「完成度が高い」「小腹が空いたときにピッタリ」と好評でした。

「給食になれば、地元の食材に目を向けるきっかけになる」「日曜日に出店し、地域の知名度アップ」「事業者と協力して、バーガー街道が作れたら……」など、普及に向けた提案も。イベント出店から始め、少しずつ認知度向上を狙います。



アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で3名様に「こころへんかるた」をプレゼント！  
右のQRコードからご回答ください。回答はお一人様1回限りで、回答期限は2月18日(金)までです。  
厳選なる抽選を行い、当選者の発表は2月24日(木)以降に賞品の発送をもってかえさせていただきます。





2/27日

時間▶ 10時～15時 (小雨決行)

鎮守の森公園 若宮八幡宮参道 (駐車場あり)

イベント内容

- 飲食店 (テイクアウト)、雑貨販売
- フラワーアレンジメント教室 (事前予約制)
- 地元産ユリの即売会
- ユリ球根の販売
- こうちみませ楽舎の成果品展示 ほか

元親武者ムシャパーガーが  
食べられるかも!?

※一部内容の変更や、中止となる可能性があります。詳しくは地域活性推進課のホームページをご覧ください。  
※新型コロナウイルス感染症予防のため、会場内での予防対策にご協力をお願いします。

入学式や卒業式、開店祝いなど、フォーマルな場を彩る花といえは「ユリ」。大輪の花は一輪でも存在感があり、甘く高貴な香りを漂わせませす。知っていますか。高知県は全国で2番目にユリの作付面積が広い、知られざるユリ大国なんです。中でも高知市は、土佐市に次いで高知県内第2位の生産量を誇ります。本市の沿岸部、長浜地区でも、全国に出荷される高品質のユリがたくさん栽培されています。そんな長浜のユリに親しんで

もらうために、昨年2月に実施したイベント「こじやんと！ゆり海道」。当日はテイクアウトマルシェやユリの即売会、ユリを使ったフラワーアレンジメント教室を実施し、親子連れなど総勢1500人の来場者で賑わい、好評に終わりました。昨年度に引き続き、今年も「こじやんと！ゆり海道2022」を2月27日(日)に開催します。華やかなお花や美味しい食べ物で、心癒されてみませんか。お誘い合わせの上、ぜひ皆さんでお越しください。



お知らせ



インスタグラム開設

こうち里海かわら版

長浜・御豊瀬・浦戸地域の魅力や、こうちみませ楽舎の取り組みを発信する地域活性推進課のインスタグラムアカウント「こうち里海かわら版」を開設しました。広報ボランティアと一緒に、地域の「素敵」を発信していきます。「地元やけど知らなかった!」という情報が見つかるかも。

下記QRコードを読み取って、ぜひフォローしてくださいね。



さとうみ編集室

■この度広報ボランティアに加入しました、屋納由佳です。仕事の関係で高知に来ることになり、この広報ボランティアを通じて高知のいいところをより深く知るとともに、私が感じた長浜・御豊瀬・浦戸地域の魅力を皆さんにも発信していきたいと考えています。高知ビギナーな私ですが、地元の方々が改めてこの地区の魅力を再確認し、また地域外の方々が訪れるきっかけとなるような架け橋になれば嬉しいです。



屋納由佳さん